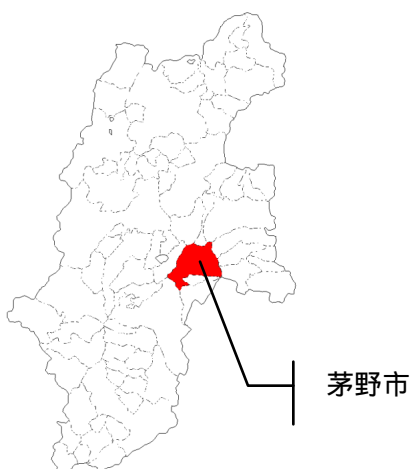


(16) 長野県茅野市(ちのし)

人口	56,346人
高齢化率	27.6%
被保険者数	14,415人
特定健康診査対象者数	10,125人
平成23年度実施率	32.6%
平成26年度実施率	45.8%
実施率の伸び	13.2%

\*人口・高齢化率は平成27年1月1日現在  
 \*被保険者数は平成26年度末。  
 \*特定健康診査対象者数、実施率は平成26年度速報値。





**職員配置**

【保健課健康推進係】

事務職 2名  
 保健師 4名  
 管理栄養士 3名  
 嘱託保健師 3名  
 嘱託看護師 1名

**被保険者年齢分布**



**地域の特性**  
 長野県中部の諏訪盆地にあり、西側北半分は八ヶ岳で、標高770mから1200mにわたるすそ野に集落や耕地があります。晴天が多く、冬の寒さは厳しいが夏は涼しく車山高原、白樺湖、蓼科等の避暑地へ観光客が訪れます。縄文時代の遺跡が発掘され、国宝となっている土偶が出土しています。同規模市と比較し第二次産業が多い地域です。寒さを利用した寒天の産地です。徐々にですが、高齢化がすすみ、人口が減少している状況です。市民と行政が協働する「パートナーシップのまちづくり」を進めています。

**特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組**  
 特に効果があった取組は、特定健康診査受診料の自己負担額の無料化及び健診会場や実施日を工夫したことです。

【特定健康診査受診料の自己負担額の無料化】  
 平成23年度までは自己負担額を1,200円としていましたが、実施率が段々低下してきたため、平成21年度、平成22年度連続未受診者を対象に、特定健診を受診しない理由について調査を実施しました。840名より回答があり、受診しない理由として、下記の理由が多く上がりました(表1)。

## 特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

(表1) 特定健康診査を受診しない理由についての調査結果

順位	受診しない理由
1	すでに医療機関にかかっているから必要ないと思っている
2	忘れていた
3	関心がない
4	市外のかかりつけ医や諏訪中央病院で受けられない
5	地区公民館で受けたい
6	健診料が高い

アンケート結果をうけて、受診料が高いとの意見が多くあったこと、近隣保険者が受診料を無料化し実施率が高いこと、新規透析者が発生したときの医療費と無料化することで発生する予算を比べると、無料化することにより受診者が増え、新規透析者を防ぐ方が予算面においてもよいことを保健師が見える化し、庁内で共有したことにより、平成24年度より自己負担額を無料としました。アンケートを受けての改善内容を下記の表2にまとめました。

(表2) 平成24年度からの改善内容

平成24年度からの改善内容
健診受診料の無料化
集団健診の開始
諏訪中央病院でも健診を受けられるようにした
検査内容の充実(白血球・血小板とe GFR表記を追加)
健診未受診者への受診勧奨を複数回行う

### 【健診会場や実施日の工夫】

平成23年度までは、26の医療機関で特定健康診査を行ってきました。平成24年度から総合病院を追加し27の医療機関で実施しています。

また、平成20年度から実施率が徐々に低下してきたため、平成24年度から医療機関で受診できなかった方を対象にした集団健診を茅野市健康管理センターで行うことにしました。個別健診を5月から12月まで実施していますので、2月の土日の4日間を設定しました。平日に受診できない方や受けそびれた方の受け皿として実施率向上に効果がありました。

平成23年度32.6%だった実施率は平成24年度45.5%となり、12.9%の伸びとなりました。

## 特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

目新しい取組がないと結果がでないのではと考えています。今は、一度上がった数字を維持するだけで精一杯になっています。実施率アップのためには、今後も新しい取組を考えないと難しいと考えています。

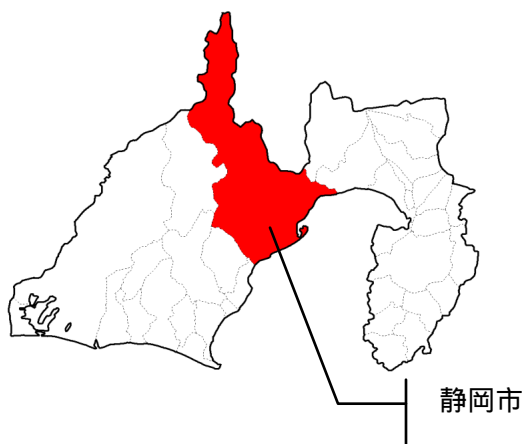
## 保健事業の委託状況(特定健康診査以外での委託の有無)

あり	
なし	

(17) 静岡県静岡市(しずおかし)

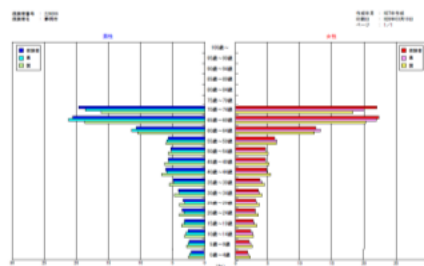
人口	715,752 人
高齢化率	27.5%
被保険者数	181,785 人
特定健康診査対象者数	125,998 人
平成 23 年度実施率	19.1%
平成 26 年度実施率	30.0%
実施率の伸び	10.9%

\*人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在  
 \*被保険者数は平成 26 年度末。  
 \*特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値



被保険者年齢分布

職員配置



【保健福祉局】  
 【福祉部保険年金管理課】  
 48 名  
 内、12 名は非常勤  
 8 名は臨時

健診・保健指導係 8 名  
 保健師 5 名  
 (内 1 名は非常勤)  
 事務 3 名  
 (内 非常勤・臨時が各 1 名)

地域の特性

静岡市は温暖な気候に恵まれ、北は南アルプスから南は駿河湾に至るまで、豊かな自然環境を有しながら、古くから今川氏や大御所時代の徳川家康公の城下町として、独自の文化や産業を育み、発展をしてきました。現在も穏やかな気候の中で、心豊かな暮らしができる環境を誇っています。特に「お茶」や「桜えび」「プラスチックモデル」などの多様な産業や、国際貿易の拠点である清水港での交易は、本市経済において重要な役割を担っております。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取り組み

特に効果があった取り組みは、かかりつけ医からの受診勧奨、特定健康診査受診料の自己負担額の無料化、特定健康診査とがん検診の同時実施です。

【かかりつけ医からの受診勧奨と特定健康診査の自己負担額の無料化】

平成 23 年度にアンケートを実施した結果、未受診の理由は「定期通院中だから」が一番多く、かかりつけ医からの年 1 回の受診勧奨をお願いすることが必要だと感じ、平成 20 年度から年 2 回(6 月、1 月)開催している医師会との会議「各種健診に係る意見交換会」にて、平成 24 年度に健診受診料自己負担の無料化とともに、かかりつけ医からの受診勧奨への協力を依頼しました。

会議には、国保担当課の課長、係長(保健師) 担当保健師 1~2 名、担当事務、がん検診を担当する一般衛生部門の課長、係長、担当事務が出席し、2 つの医師会から理事十数名が参加されています。

会議の中で、医師会側より、以前は健診の自己負担額が 1,500 円であり、通常 3 割程度の支払

### 特定健康診査実施率向上に特に効果があった取り組み

の医療費で済んでいる被保険者に健診を勧めにくかったが、無料化により健診が勧めやすくなったとの声が聞かれています。

また、医師会の会報誌に定期的に月毎の実施率の推移を掲載していただいたり、治療中の人も対象になることを各医療機関の医師に周知していただいています。

さらに、特定保健指導を受けた被保険者の内 39.4%が翌年の健診でメタボリック症候群(予備群)を脱出しているという資料等を提示し、特定健康診査・特定保健指導へのご理解をいただきました。出席されていた医師から、ビッグデータの確保の観点より、市全体の健康状態を把握するためにも実施率向上が必要であろうとの前向きな意見をいただいています(資料1:医師会説明資料)。

さらに、地域の保健福祉センターでも啓発に努めており、実施率の大きく伸びた地区は、すべての医療機関に保健師が訪問し、健診への協力を呼びかけ理解を求めるなどの活動をしています。また、地域の医療機関を保健師が回ることによって、顔の見える関係づくりができ、特定健康診査受診後の特定保健指導につなげやすくなったとの声が聞かれています。

#### 【特定健康診査とがん検診の同時実施】

平成20年度より、被保険者の利便性を考え、各種がん検診を特定健康診査と同時実施しており、被保険者に分かりやすく「成人健診まるわかりガイド」を作成して全世帯に配布しています。

### 特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

本市の場合、実施率向上は、医師会の協力が得られたことが大きな要因でした。年2回の医師会との会議において健診受診者数の推移や学区別実施率、健診データの有所見率分析、特定保健指導の成果について情報提供し、「実施率向上のための対策」について意見交換して参りました。医師によると、定期通院中の人への健診実施は、本人の理解を得るのに時間を要し、費用の請求事務も煩雑になるとのご意見があります。

実施率の向上は「健診受診料自己負担の無料化」により被保険者にとって受けやすくなったのは勿論ですが、医師への負担が減り、医師が健診を勧め易くなったのも要因といえます。また同時に、貧血検査を全員に、心電図検査を希望者に実施し、検査内容を充実させたことも一因かと考えております。

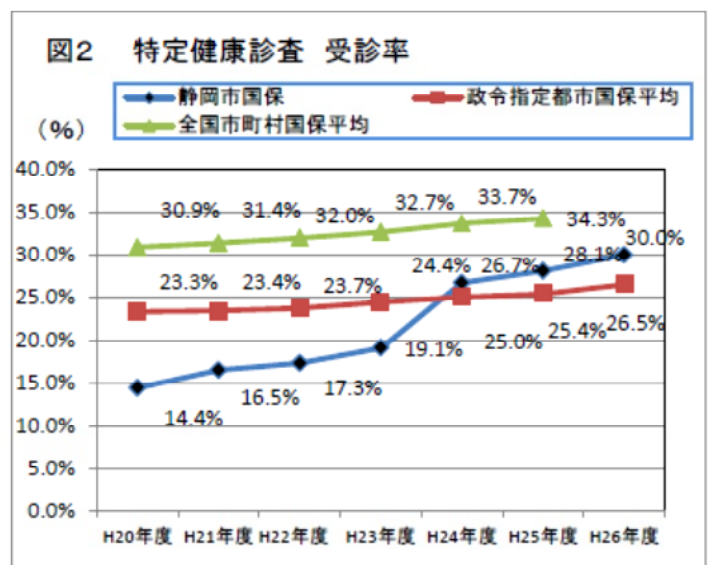
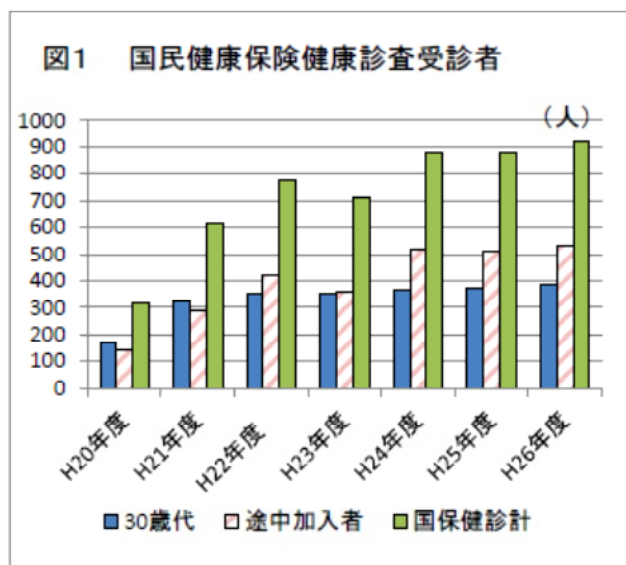
しかしながら、目標の実施率には届いていないことから、他都市の取り組みを参考にさせていただきながら更なる実施率向上に努めたいと考えております。

### 保健事業の委託状況(特定健康診査以外の委託の有無)

あり	特定保健指導業務(一部)
なし	

(1)健康診査実施状況及び経年比較(法定報告)

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
国民健康保険健康診査 (30～39歳) (途中加入者)	30歳代	173	326	351	352	363	373	387
	途中加入者	145	289	422	359	518	508	530
	小計	318	615	773	711	881	881	917
特定健康診査 (40～74歳)	対象者数	131,916	132,006	131,034	130,942	130,506	128,741	125,998
	健診受診者数	19,044	21,769	22,627	25,009	34,903	36,212	37,739
	受診率(%)	14.4	16.5	17.3	19.1	26.7	28.1	30.0
後期高齢者 (75歳以上)	対象者数	76,959	79,459	82,316	84,846	87,519	90,238	92,084
	健診受診者数	9,160	8,838	10,092	10,896	15,649	16,194	17,492
	受診率(%)	11.9	11.1	12.3	12.8	17.9	18.0	19.0



(2)平成27年度 特定健診受診者数 前年との比較(H27.12月現在)

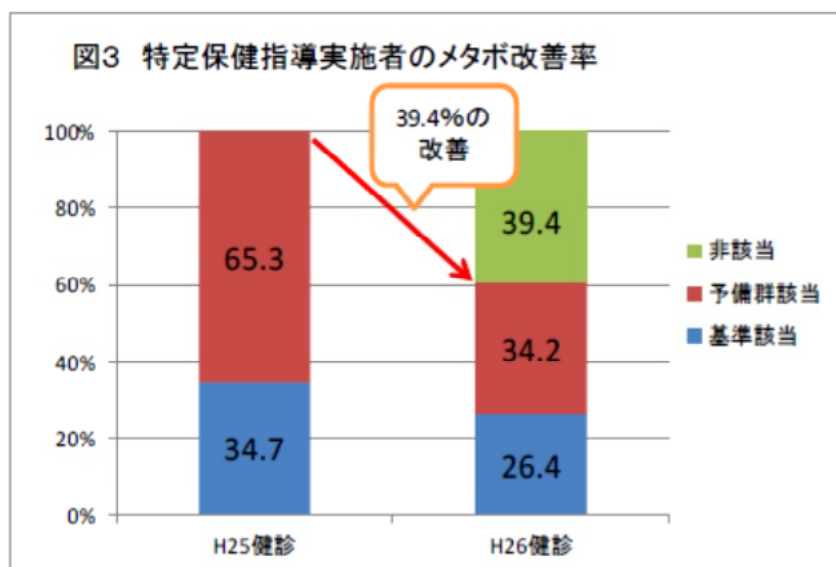
	受診者数	(再掲)			
		病院・健診センター	静岡医師会	清水医師会	その他
平成27年12月	18,792	6,009	8,421	3,878	484
平成26年12月	18,350	5,344	8,570	3,869	567
前年との差	442	665	-149	9	-83

※受診者数は、実際に受診した数(法定報告とは異なる)

(3)特定健康診査受診者における特定保健指導実施状況(法定報告)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
特定保健指導対象者	2,491	2,724	2,656	2,847	3,754	3,686	3,819
初回面接終了者	870	688	517	610	836	750	939
保健指導終了者	586	651	433	605	642	697	722
保健指導終了者(実施率)	23.5%	23.9%	16.3%	21.3%	17.1%	18.9%	18.9%

#### (4) 特定保健指導実施者のメタボ改善率



#### (5) 特定保健指導外(非肥満者)の保健指導 (H26年度)

	対象者数	指導者数	実施率
腎機能低下者	187	173	92.5%
受診勧奨	752	736	97.9%
計	939	909	96.8%

※腎機能低下者……… eGFR50以下または尿蛋白2+以上のうち、治療中を除く

※受診勧奨対象者……… 血圧・血糖・脂質・尿酸等が高値で未治療

分類	項目	基準値	備考
血圧	収縮期血圧	160以上	どちらか当てはまれば該当
	拡張期血圧	100以上	
脂質	LDLコレステロール	180以上	
血糖	HbA1c	7.0以上	
代謝	尿酸	9.0以上	

※がん、難病、精神疾患等で長期にわたり受診している場合は除外。

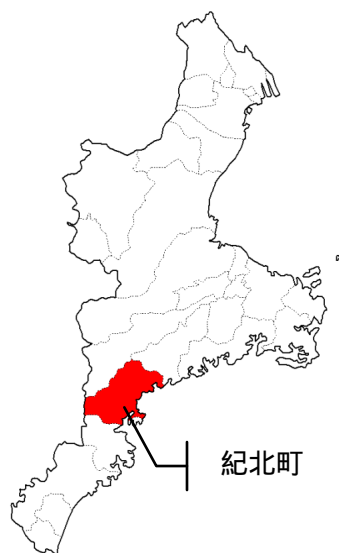
#### (6) 平成28年度受診率向上対策 (予定)

- 特定健診自己負担無料化の継続
- 健診まるわかりガイドの全世帯配布 (4月)
- 広報紙・暮らしの便利帳に案内や特集を掲載
- 国保連による、テレビCM放映
- ラジオ放送にてPR
- 受診啓発のための説明会 (4月～5月)
  - ・自治連合会・保健委員総会・社協関係・JA静岡農協女性部総会・民生委員協議会
  - ・静岡市食生活推進協議会・地域でのS型デイサービス 等
- カラーポスター・チラシの配布 (健診実施医療機関、図書館、生涯学習交流館、農協、民間スポーツ施設)
- 静岡市ホームページへの掲載
- 保険料納付通知および保険証送付通知に健診PRの掲載
- 未受診者へ受診勧奨通知 (11月下旬) 職場健診・人間ドック利用者の健診結果提出依頼と提出書式の盛り込み
- 自治会チラシ回覧 (2月)
- 慢性腎不全 (CKD) 予防を通しての健診啓発
- 中学校区でのPTA向け健康教育での健診啓発

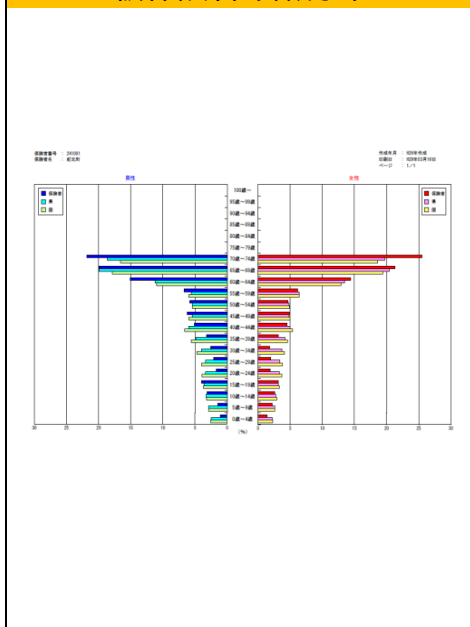
(18) 三重県紀北町(きほくちょう)

人口	17,659人
高齢化率	38.8%
被保険者数	5,351人
特定健康診査対象者数	3,923人
平成23年度実施率	22.4%
平成26年度実施率	36.7%
実施率の伸び	14.3%

\*人口・高齢化率は平成27年1月1日現在  
 \*被保険者数は平成26年度末。  
 \*特定健康診査対象者数、実施率は平成26年度速報値。



被保険者年齢分布      職員配置



< 特定健診担当 >  
**【住民課】** 国保・年金係  
 課長 課長補佐  
 事務職 4人 臨時職員 1人  
**【住民室】** 国保・年金係  
 室長 事務職 2人  
 嘱託職員 1人  
 < 集団健診担当 >  
**【福祉保健課】** 地域保健係  
 課長 課長補佐  
 保健師 5人 管理栄養士 1人  
 嘱託看護師 1人  
**【福祉環境室】** 福祉保健係  
 室長 事務職 2人  
 保健師 2人 嘱託職員 1人

地域の特性

紀北町の気候は、日本でも有数の多雨地帯の中にあるため、見事な森林を育成させ、夏は涼しく冬は温暖です。そして、伊勢志摩、吉野熊野国立公園の中間に位置し歴史と伝統を誇る町でもあります。町の産業は、前面(東)に黒潮躍る熊野灘、背後(西)には日本有数の原生林が残る大台山系と豊かな自然に囲まれ、古くからその恵を生かし、水産業・林業などの産業を中心に発展してきました。しかし、地域の課題として、昭和30年以降、人口が減少傾向にあり、若者が雇用の場を求めて都市部に流出しており、その結果、高齢化が進み、医療費も年々増加しています。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、特定健康診査の自己負担金を無料化、町内連携及び関係機関との連携の下、特定健康診査受診の機会を他の様々な事業と同時に実施したことです。

【特定健康診査受診料の自己負担額の無料化】  
 特定健康診査の無料化は、平成23年度の実施率が22.4%と県内29市町で最下位であったため、とにかくできることから始めてみようという思いから、平成24年度から自己負担金を無料化しました。その結果、平成24年度の実施率は33.6%となり、11.2%の大きな伸びとなり、県内で20位まで順位を上げることができています。

### 特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

【庁内連携及び関係機関との連携の下に、特定健康診査を他の様々な事業と同時実施したことによる相乗効果】

今まで特定健康診査や各がん検診は、それぞれバラバラに集団健診を行っており、複数の日程がありました。住民課（国保部門）が特定健康診査を担当し、福祉保健課（一般衛生部門）が特定保健指導を担当していますが、庁内で毎日のように連携をとっている中で、特定健康診査や各がん検診を一日にまとめた方が住民の利便性が向上するのではないかという思いから、平成 25 年度に合同会議を何回か行い、平成 26 年度から「みんなでいこか！総合けんしん」と題し、各種がん検診（胃がん、乳がん、子宮がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん）と併せて特定健康診査が一日で受診できる集団健診を住民に馴染みのある大きな公民館、紀伊長島区（東長島公民館）と海山区（海山公民館）の 2 会場で、7 月と 11 月の 2 回実施しています。

がん検診の自己負担金は、胃がん、肺がん、大腸がんが無料、子宮頸がんが 1,000 円、前立腺がんが 500 円で、自己負担があってもいずれも受けやすくするために低額に設定しています。

特定健康診査の受診までの流れとして、広報の折り込みチラシに申込書を印刷し、事前に受けたい健（検）診をチェックし、福祉保健課に提出する仕組みをとっています（資料 1：申込書等）。

また、「みんなでいこか！総合けんしん」では、後期高齢者広域連合からの後期高齢者健診の広報活動を委託され同時実施していますが、健診の認知度を上げることに於いて、かなり有効となっています。さらに、健康増進法健診、若者健診（21 歳から 39 歳）、成人おめでとう無料健診（平成 28 年度からは、町内で暮らす 20 歳の被保険者が少ないことから 30 歳にターゲットを移す予定）に加え、肝炎ウイルス検査（平成 28 年度からは地元の医療機関との連携によって実施できることになっている）、骨密度測定、保健師が協会けんぽの担当者と連携し、協会けんぽの特定健診（扶養家族）を同時に実施しています。また、メタボリックシンドロームの予防啓発、保健所の協力も得て、自殺予防対策の啓発、ウォーキングの啓発等の展示コーナーを設置しています。これら以外にも、地元の豊富な人脈をもつ方 78 名に健康づくり推進員になっていただき、健診当日の会場案内や託児の御協力をいただいています。また、健診当日の健康アンケートの実施結果からも、一日で健診が受けられる利便性が好評となっており、住民同士が制度の枠を超え、お互いに声をかけ合って受診している結果分析ができています（資料 2：健康アンケート）。

### 特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

本町は、急速な少子高齢化が進む中で、国民健康保険の医療費は毎年増え続けています。

その医療費に占める疾病の割合としては、「がん」、「虚血性心疾患」、「脳血管疾患」、「糖尿病」等の生活習慣病が医療費の約 3 分の 1 を占めておりますので、特定健診の実施率が向上することは、自らの健康状態を把握し、生活習慣病の改善を図り、生活習慣病を予防することに繋がり、ひいては、医療費の削減につながると考えますので、大変喜ばしいことと思います。近年、「健康の町 紀北町」の実現を目指し、健康づくりに力を注いでおりますので、今後も、さらに特定健診実施率の向上を目指し、取組を進めていきたいと考えております。

実施率向上の取組において、困難だった点につきましては、実施率向上の一環として取り組んだ集団健診におきまして、一度に参加者が会場に押し寄せましたので、会場が一時大変混み合ったことで、参加者から苦情をもらいました。しかし、このことにつきましても、随時、検討会議等を開催し、受付時間を分けるなどして、会場の混乱を徐々に減らすことができるようになり、集団健診の参加者から「参加して本当によかった」と満足の声が聴けるようになりました。

地域住民同士がお互いに誘い合う等して気軽に参加でき、健康の大切さを再認識できる集団健診を実施してから、国民健康保険の特定健康診査の実施率は向上しており、実施率の向上に大きく寄与しているものと考え、今後も継続して実施していく予定です。

### 保健事業の委託状況（特定健康診査以外での委託の有無）

あり	特定健診の受診勧奨、後発医薬品利用差額通知のコールセンター委託
なし	脳ドック健診、レセプト 2 次点検、ウォーキング効果検証、医療費分析業務



# 保存版

平成 28 年度

## がん検診・各種健診

ご案内及び申し込み書

あなたの命は あなたしか守れない



三重県紀北町マスコットキャラクター  
きーほくん

紀北町役場 福祉保健課

海山総合支所 福祉環境室

# 平成28年度 “がん検診・各種健診” のご案内

～ 町民の方を対象に受診申し込みを受け付けます～  
対象の各健(検)診を年1回受けられます。

## 【申し込み方法】

別紙の「がん検診」、「各種健診」日程表(ピンク色)を確認し、申込書に必要事項を記入の上、添付の封筒に申込書を入れて下記の役場窓口に提出してください。郵送の場合は、封筒に82円切手を貼って返送してください。

インターネットでの申し込み：紀北町ホームページの「出産・育児・健康」をクリックし、「各種健診」の中の「がん検診・各種健診申し込みフォーム」から「申込み画面」に進み、必要項目を入力ください。

紀北町ホームページ (<http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/>)

( 電話での申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。)



## 【提出先】

本庁福祉保健課、海山総合支所福祉環境室、各出張所

## 【申し込み期間】

平成28年3月1日(火)から4月8日(金)



## 【その他】

別紙の“がん検診・各種健診”日程表(ピンク色)は、ご自分の受診スケジュールを記入し、大切に保管してください。

申込みされた方には、健診(検診)前になりましたら受診票を送付させていただきます。

症状のある方は、医療機関を受診して下さい。

### 『みんなでいこか！総合けんしん』のお知らせ

以下の5日間は、各種がん検診と特定健診などが、1日でまとめて受診できる、『みんなでいこか！総合けんしん』です！

時間、内容等は、ピンク色の日程票の ☺ 印の日程を確認して下さい。

【東長島公民館】 7月8日(金) 7月9日(土) 11月20日(日)

【海山公民館】 7月16日(土) 11月16日(水)



## 【対象者と料金】

健診（検診）名	検査内容	対象者	料金
肺がん・結核検診	胸部レントゲン間接撮影		無料
大腸がん検診	便潜血反応検査（2日法）	20歳以上 <sup>1</sup>	
胃がん検診	胃部エックス線撮影（バリウム）		広報きほく4月号等 でお知らせします 500円 (75歳以上・生活保 護世帯無料)
前立腺がん検診	血液検査（PSA検査）	50歳以上の男性 <sup>1</sup>	
子宮がん 検診	集団（検診車）	内診、子宮頸部細胞診	頸部のみ 1,000円
	個別 （医療機関） <sup>2</sup>	内診、子宮頸部細胞診 （必要に応じて子宮体部細胞診）	20歳以上の女性 <sup>1</sup> 頸部と体部 セットで2,000円 (75歳以上・生活保 護世帯無料)
乳がん 検診 <sup>3</sup>	超音波	エコー検査	20歳以上の女性 <sup>1</sup> 1,000円 (75歳以上・生活保 護世帯無料)
	マンモグラフィ	乳房エックス線撮影	40歳以上の女性 <sup>1</sup>
骨密度測定	かかとの骨の超音波検査	20～74歳の女性 <sup>1</sup>	500円（生活保護世 帯無料）
肝炎ウイルス検査 <sup>4</sup>	血液検査（B型肝炎・C型肝炎 ウイルス検査）	40歳以上で今まで受 けたことがない方 <sup>1</sup>	無料
若者健診	身体計測、尿検査、 血液検査、血圧測定等	21～39歳で職場等の 健診を受ける機会がな い方	1,000円（生活保護 世帯無料）
30歳節目無料健診		平成28年度30歳になる 方 （昭和61年4月1日～昭 和62年3月31日生）	無料
国民健康保険・特定健康診査 受診券は後日送付されます。		40～74歳の国民健康 保険加入者	200円または500円
後期高齢者健康診査 受診券は後日送付されます。		後期高齢者医療保険 の被保険者	
健康増進法健康診査 受診券は後日お渡しします。		医療保険に加入してい ない40歳以上の方	無料

全国健康保険協会（協会けんぽ）のご家族の方の特定健診の申込みは、4月中旬に届く協会けんぽからの案内をご覧ください。また、ご自身の加入されている健康保険をご確認ください。

- 1 対象者の年齢は、平成29年3月31日時点での年齢を指します。
- 2 子宮がん検診の個別検診は、海山レディースクリニック、上田医院で受けられます。希望される方は、医療機関に直接受診してください（予約不要）。
- 3 乳がん検診は、超音波またはマンモグラフィのどちらか一つ受診できます。
- 4 肝炎ウイルス検査は、7月～11月に医療機関での実施も予定しています。実施が決定しましたら広報6月号でお知らせします。

## 【受診の際の注意事項】

### 乳がん検診について

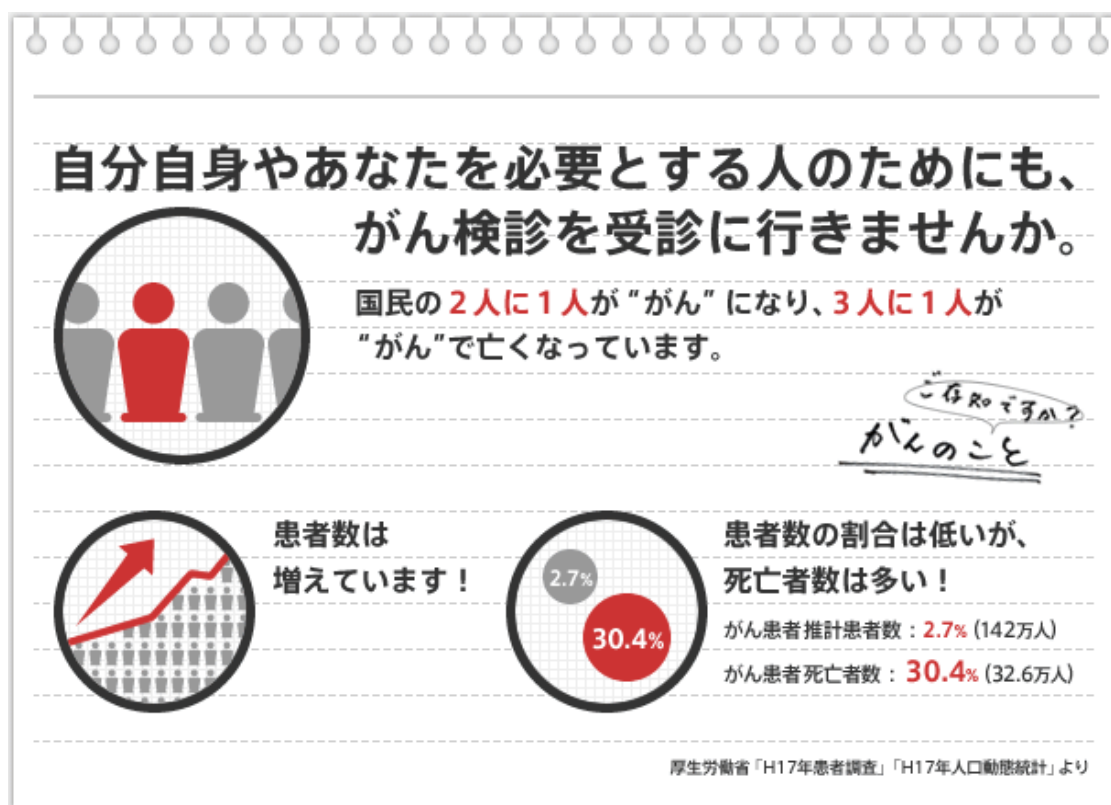
検診日により、検査方法が違いますのでご注意ください。

マンモグラフィ(乳房エックス線撮影)

40歳以上の方が対象です。妊娠中または妊娠の可能性のある方、授乳中または授乳中止直後の方、豊胸術を受けられた方は、受診することができません。

超音波(エコー検査)

20歳以上の方が対象です。妊娠の可能性を心配する必要がなく、乳腺の発達している若年の方や、痛みを伴いませんので乳房の圧迫に耐えられない方に適しています。



### 【問い合わせ】

本庁福祉保健課

電話 0597-46-3122

海山総合支所福祉環境室

電話 0597-32-3904

平成28年度 「がん検診」・「各種健診」日程表 【保存版】

各健(検)診毎に  
年1回まで 受診できます

- ・この日程表をご覧ください、受診を希望する会場の番号を申込書にご記入ください。
- ・各会場とも、申し込み人数により、受診日時、受診会場の変更をお願いする場合がございます。
- ・☺印の日は『みんなでいこか！総合けんしん』です。各種がん検診と特定健診などが1日で受けられます。
- ・印は、大腸がん検診のみとなります。

月	肺がん・結核検診				大腸がん検診(容器配付日)				肝炎検査・若者健診(30歳節目無料健診含む)骨密度測定 保特定健診・後期高齢者健診・健康増進法健診						
	日	曜日	番号	会場	受診時間	日	曜日	番号	会場	受診時間	日	曜日	番号	会場	受診時間
7月	4日	月	1	三浦公民館	9:00 ~ 9:30										
			2	道瀬会館	9:45 ~ 10:00										
			3	古里センター	10:15 ~ 10:45										
			4	海野会館	11:00 ~ 11:30										
			5	中ノ島会館	13:30 ~ 14:00										
			6	保健センター	14:30 ~ 15:00										
	5日	火	7	此ヶ野集会所	9:30 ~ 9:45										
			8	大原集会所	10:00 ~ 10:15										
			9	若者センター	10:30 ~ 10:45										
			10	下地集会所	13:20 ~ 13:40										
			11	志子奥集会所	14:00 ~ 14:20										
			12	田山集会所	14:50 ~ 15:10										
			13	東長島公民館 (大腸のみ)	17:15 ~ 18:00										
	6日	水	14	片上集会所	9:30 ~ 9:50										
			15	呼崎会館	10:20 ~ 10:40										
			16	山本会館	11:10 ~ 11:30										
			17	中州区民館	13:30 ~ 13:50										
			18	出堀内(喫茶千里橋駐車場)	14:10 ~ 14:30										
			19	紀伊長島体育館	14:50 ~ 15:10										
8日	☺金	20	東長島公民館	8:30 ~ 11:00	8日	☺水	20	東長島公民館	8:30 ~ 11:00						
		21	東長島公民館	13:30 ~ 15:00			21	東長島公民館	13:30 ~ 15:00						
9日	☺土	22	東長島公民館	8:30 ~ 11:00	9日	☺土	22	東長島公民館	8:30 ~ 11:00						
		23	東長島公民館	13:30 ~ 15:00			23	東長島公民館	13:30 ~ 15:00						
16日	☺土	24	海山公民館	8:30 ~ 11:00	16日	☺土	24	海山公民館	8:30 ~ 11:00						
		25	海山公民館	13:30 ~ 15:00			25	海山公民館	13:30 ~ 15:00						
11月	7日	月	26	島勝浦集会所	9:30 ~ 10:00										
			27	白浦集会所	10:30 ~ 10:45										
			28	矢口浦集会所	11:10 ~ 11:40										
			29	相賀コミュニティセンター	13:30 ~ 14:30										
			30	便ノ山集会所	15:15 ~ 15:30										
	9日	水	31	馬瀬集会所	9:30 ~ 9:45										
			32	河内区民会館	10:00 ~ 10:20										
			33	上里農協倉庫前	10:40 ~ 11:00										
			34	船津集会所	13:30 ~ 13:50										
			35	新田集会所	14:10 ~ 14:30										
			36	中里集会所	14:50 ~ 15:10										
	11日	金	37	汐見集会所	9:30 ~ 10:00										
			38	長浜集会所	10:30 ~ 11:00										
			39	小山浦 野菜市場	13:30 ~ 13:45										
40			引本公民館	14:15 ~ 15:00											
16日	☺水	41	海山公民館	8:30 ~ 11:00	16日	☺水	41	海山公民館	8:30 ~ 11:00						
		42	海山公民館	13:30 ~ 15:00			42	海山公民館	13:30 ~ 15:00						
20日	☺日	43	東長島公民館	8:30 ~ 11:00	20日	☺日	43	東長島公民館	8:30 ~ 11:00						
		44	東長島公民館	13:30 ~ 15:00			44	東長島公民館	13:30 ~ 15:00						
注意事項	大腸がん検診は、2日分の便を採取して血液が混じっていないかどうかを調べる検査です。 大腸がん検診の容器回収日は、 月20日(水)、7月21日(木)、 24日(木)、11月25日(金)です。 時間は、容器配付時にお知らせします。				肝炎ウイルス検査は、今までに検査をしたことがない40歳以上の方が対象です。(7~11月に医療機関での実施も予定しています。実施が決定しましたら <b>広報6月号</b> でお知らせします) 若者健診は、平成28年度に21歳になる方から39歳までの方が対象です。 骨密度測定は、平成28年度20歳から74歳の女性の方が対象です。 (昭和17年4月1日~平成9年3月31日生まれ)										
料金	肺がん・結核検診 } 無料 大腸がん検診 }  ☺印の「みんなでいこか！総合けんしん」の日は、混雑が予想されます。肺がん・大腸がん検診のみご希望の場合、可能な方は、印以☺会場をご利用ください。				肝炎ウイルス検査：無料 若者健診：1,000円(生活保護世帯無料) *このうち平成28年度中に30歳になる方は、30歳節目無料健診の対象となり無料です。(昭和61年4月1日~昭和62年3月31日生まれ) 骨密度測定：500円(生活保護世帯無料) 国保特定健診：無料 後期高齢者健診：200円または500円 健康増進法健診：無料										

☺印は、1日でまとめて受けられる！  
**「みんなでいこか！総合けんしん」**  
各種がん検診と特定健診などが、1日で受診できて便利です。  
【東長島公民館】  
7月8日(金)  
7月9日(土)  
11月20日(日)  
【海山公民館】  
7月16日(土)  
11月16日(水)  
お子様連れの方へ：託児がありますのでご利用ください。

裏面もご覧ください

症状のある方は、医療機関を受診してください。

【受診を希望される方は必ずこの申込書にご記入の上、提出してください】

住所、電話番号、氏名等を記入し、記入例を参考にして、ピンク色の日程表を見ながら、受診を希望する会場の番号を記入してください。

平成28年度“がん検診・各種健診”受診申込書

住所		紀伊長島区 海山区		連絡のとれる 電話番号 (携帯電話も可)		-		-									
対象		20歳以上			50歳以上の男性	20歳以上の女性	40歳以上の女性	20歳以上の女性	20～74歳 の女性	40歳以上	21～39歳	40～74歳の 国保加入者	後期高齢者医療 保険の被保険者	40歳以上の医療 保険未加入者			
受診者 フリガナ	氏名	性別	区分	肺がん・ 結核検診	大腸がん検診	胃がん検診	前立腺がん検診	乳がん検診 (エコーまたはマンモグラフィ どちらか一つ受診できます)		子宮がん検診	骨密度測定	肝炎ウイルス検査	若者健診 (30歳節目無料 健診を含む)	国民健康保険 特定健診	後期高齢者健診	健康増進法健診	
				レントゲン撮影	便潜血反応検査	レントゲン 撮影 (バリウム)	血液検査	超音波 (エコー)	マンモグラフィ	子宮頸部細胞診 (パスでの検診)	超音波 (エコー)	血液検査	身体計測・尿検査・血圧測定・血液検査など				
(フリガナ)	キホク タロウ	男	希望する 会場の 番号														
	記入例	男															
	紀北 太郎	女		33	33	50	50										
	大正 35年4月1日																
(フリガナ)	キホク ハナコ	男	希望する 会場の 番号						61	61	20	20		20			
	記入例	男															
	紀北 花子	女		20	20	20											
	大正 45年5月1日																
(フリガナ)		男・女	希望する 会場の 番号														
	大正 年月日																
(フリガナ)		男・女	希望する 会場の 番号														
	大正 年月日																
(フリガナ)		男・女	希望する 会場の 番号														
	大正 年月日																
(フリガナ)		男・女	希望する 会場の 番号														
	大正 年月日																

【申込み期間】平成28年3月1日(火)から4月8日(金) 【提出先】紀北町役場福祉保健課、海山総合支所福祉環境室、各出張所

## 紀北町「みんなでいこか！総合けんしん」アンケート(H27.7.18)

本日は検診お疲れ様でした。みなさまの率直なご意見をいただき、今後の検診実施の参考にしたいと考えておりますので、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

あてはまるものに もしくは記入してください。

- Q1 . 性別 ・男 ・女
- Q2 . 住所 ・紀伊長島区 ・海山区
- Q3 . 年齢 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代  
・70代 ・80代以上
- Q4 . 職業 ・会社員 ・公務員 ・パート ・専業主婦 ・自営業 ・漁業  
・無職 ・農業 ・その他 ( )
- Q5 . 町のがん検診または特定健診など(若者健診、後期高齢者健診、健康増進法健診含む)を受診されたのは何回目ですか？  
がん検診 【 初めて( ) がん検診 ) ・ 2回目以降( ) がん検診 ) 】  
特定健診など【 初めて ( ) ・ 2回目以降 ( ) 】
- Q6 . 今日どの検診を受診されましたか？(あてはまるものすべてに )  
・国民健康保険特定健診 ・協会けんぽ特定健診 ・若者健診  
・後期高齢者健診 ・健康増進法健診 ・胃がん検診  
・肺がん検診結核検診 ・大腸がん検診 ・前立腺がん検診  
・乳がん検診 ・子宮がん検診 ・肝炎ウィルス検査 ・骨密度測定
- Q7 . 受けようと思ったきっかけは何ですか？(あてはまるものすべてに )  
・ 広報きほくを見て ・協会けんぽの案内を見て  
・ いろいろな検診が1日で受けられるから ・ 近くの場所で受けられるから  
・ 毎年受けているから ・ 家族、友人に誘われたから  
・ 料金が安いから ・ 検診を受ける必要性を感じたから  
・ 何となく  
・ その他( )
- Q8 . いろいろな検診が1日で受けられる日を設けましたが、今後も希望されますか？  
・ 希望する ・ 希望しない 理由を教えてください( )  
検診を受けやすい時期を教えてください。  
ア. 時期：( ) 月頃 ・ いつでもよい ) イ. 曜日 ( ) 曜日 ・ いつでもよい)
- Q9 . 本日の検診の満足度はいかがですか。

	満 足	やや満足	やや不満	不 満
総合受付				
検診場所までの案内				
待ち時間				
スタッフの対応				
全体				

- Q10 . 紀北町の検診全般について、ご意見があればお聞かせください。

{

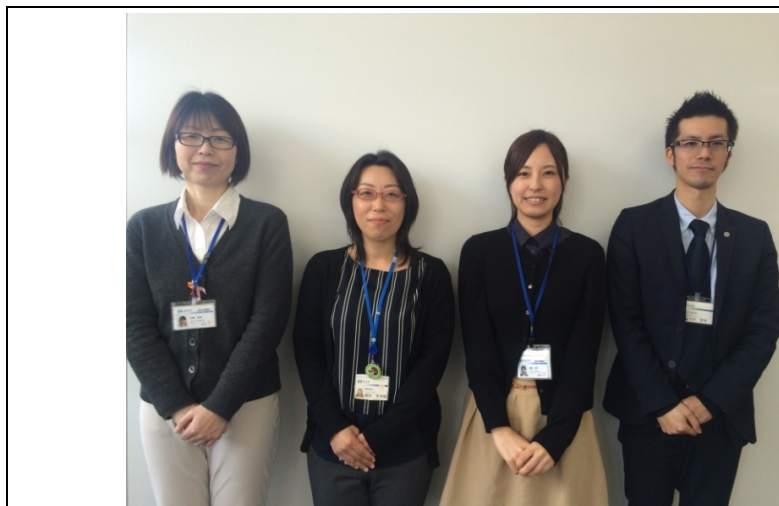
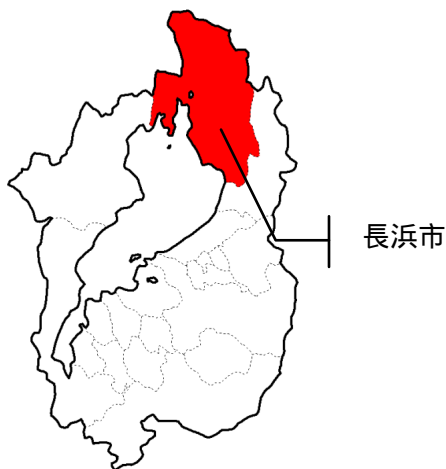
}

ご協力ありがとうございました

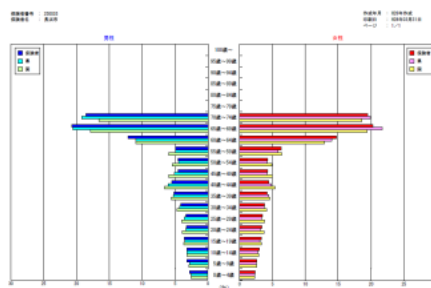
( 19 ) 滋賀県長浜市 ( ながはまし )

人口	121,818 人
高齢化率	25.7%
被保険者数	29,643 人
特定健康診査対象者数	19,713 人
平成 23 年度実施率	19.8%
平成 26 年度実施率	33.7%
実施率の伸び	13.9%

\* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在  
 \* 被保険者数は平成 26 年度末。  
 \* 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布



職員配置

【保険医療課】  
 事務職 2 人  
 【健康推進課】  
 保健師 2 人 ( 業務担当 )

地域の特性

長浜市は、滋賀県の東北部に位置し、北は福井県、東は岐阜県に接しています。周囲は伊吹山地などの山々と、ラムサール条約の登録湿地でもある琵琶湖に面しており、中央には琵琶湖に注ぐ姉川や高時川、余呉川等により形成された豊かな湖北平野と水鳥が集う湖岸風景が広がり、県内でも優れた自然景観を有しています。

また北国街道やこの街道と中山道を結ぶ最短経路であった北国脇往還、戦国時代を偲ばせる長浜城跡や小谷城跡、賤ヶ岳、姉川の古戦場をはじめ、竹生島の宝蔵寺と都久夫須麻神社、向源寺 ( 渡岸寺観音堂 ) の国宝十一面観音立像をはじめとする数多くの観音像が祀られる観音の里など、すぐれた歴史的・文化的遺産を有しています。

長浜市は、平成18年と平成22年の二度にわたる合併を経て、現在は人口約12万人を有する湖北圏域の中心都市として発展を続けています。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、健診未受診者個人への受診勧奨とながはま 0 次予防コホート事業「0 次健診」の実施です。

【健診未受診者個人への受診勧奨】

これまでは郵送による勧奨通知を実施していましたが、効果が薄く、抜本的な受診勧奨を行うため、平成 26 年度より電話による受診勧奨を実施しました。

平成 26 年 7 月 7 日から平成 26 年 8 月 26 日までの期間中、外部委託により実施し、健診未受診者のうち過去に集団健診で特定健康診査、がん検診を受診した方で、電話番号を把握している方、



### 特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

全てを対象に電話勧奨を実施しました。外部委託業者には、対象者の氏名、住所、電話番号、年齢を伝え、4,922人中3,205人に受診勧奨し、1,551人(48.4%)が受診につながり、そのうち平成25年度に未受診だった541人が受診されました。委託先の専門職(保健師・栄養師)による特定健康診査を受診する意義や生活習慣病の怖さ等についての丁寧な説明により、全く特定健康診査に関心がなかった人への新規開拓が容易かつ可能になったと考えています。

#### 【ながはま0次予防コホート事業における「0次健診」の実施】

京都大学大学院医学研究科がコホート研究のフィールドを探しておられ、人口移動がそれほど少なく、町衆文化が継承され市民活動が盛んな当市に声をかけていただきました。健康づくり事業の新たな展開を模索していたこともあり、健康づくりの推進と医学発展への貢献を目的に平成19年度より「ながはま0次予防コホート事業」を開始しました(資料1:「0次健診」の概要)。

事業の中心となる「0次健診」は、市民の健康づくりと医学研究を行う健診で、通常の「特定健康診査」と京都大学医学研究科が提供する「健康づくりに役立つ検査」を組み合わせた健診を、5年に1度受診する形となっています。平成26年度は、特定健診対象者のうち0次健診で1,494人が受診したことから特定健康診査実施率に大きく寄与したと考えられます。

なお、事業開始前から医師会の先生方には京都大学や当市から事業の説明を行い、事業へのご理解をいただき、運営委員会等への参加や健診後の精密検査対応等にも協力いただいています。この事業をきっかけに、エコチル調査のフィールドやながはま健康ウォーク事業で連携を図っています。

### 特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

これまでの郵送による勧奨通知では、対象者の反応がわかりにくく、受診したことだけしか効果測定ができませんでしたが、電話による勧奨により、対象者の特定健診や生活習慣病に対する考えを会話の中で把握することができ、さらには、食生活などの生活習慣を聞き取ったり、丁寧な説明や啓発が直接できたことが、実施率の向上に大きく寄与したと考えています。また、結果として受診につながらなかった場合でも、特定健診の意義等が伝えられたことで、健康意識の醸成につながったと考えています。一方で、電話を媒体とすることで、「本当に市の委託を受けて電話をかけているのか」と疑われることもあり、啓発にまで至らなかったケースもありました。

本市の実施率はまだまだ低いので、これからもターゲットを絞ったり工夫した啓発方法で、生活習慣病は無自覚なまま進行すること、生活習慣病の早期発見・重症化予防には特定健診が役立つことなどを理解いただけるよう、引き続き実施率の向上に取り組んでいきたいと考えています。

### 保健事業の委託状況(特定健康診査以外での委託の有無)

あり	健診未受診者への受診勧奨(電話勧奨の委託以外に、委託はしていません)
なし	

## 「知っていますか？ ながはまの健康づくりの宝物」 ～長浜市民1万人の健康調査報告～

長浜市と京都大学大学院医学研究科は、2007年5月に「市民の健康づくり推進」と「医学発展への貢献」を掲げ、「0次予防健康づくり推進事業の共同実施に関する協定」を締結し、2016年までの10年間の相互連携と協力関係の構築を定めました。

0次予防健康づくり推進事業は、京大医学研究科との包括的な連携事業の総称であり、その連携の主軸として、現在「ながはま0次予防<sup>1</sup>コホート<sup>2</sup>事業」が進められています。

この事業は、市民1万人の参画を得て、健康づくりの推進を図るとともに、血液や尿、健康情報などを蓄積し、管理運用し、医学研究を通じて次世代の健康づくりに貢献するものです。

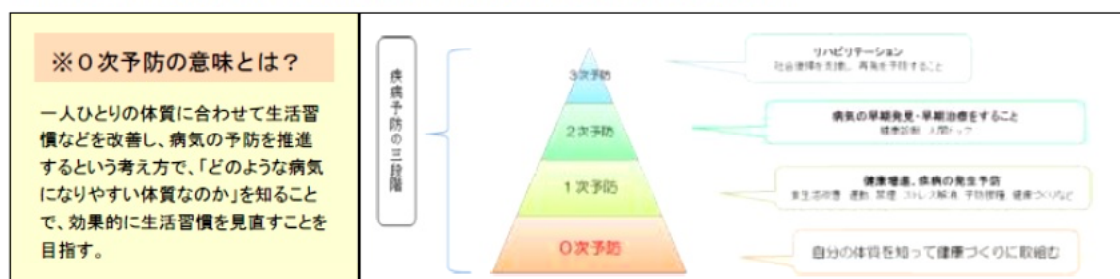
### 1. 0次<sup>ぜろじ</sup>予防健康づくり推進事業経過

#### [実施経過]

2005年12月	「0次予防健康づくり推進事業の計画策定に関する覚書」締結
2006年7月	「ながはま0次予防コホート事業」の計画づくり開始
10月	個人情報保護や倫理問題に対処するための「ながはまルール」づくりが開始
2007年5月	「0次予防健康づくり推進事業の共同実施に関する協定」に調印
9月	0次健診パイロット事業開始（参加者273人、8日間実施）
2008年6月	「ながはま0次予防コホート事業における試料等の蓄積及び管理運用に関する条例」制定
10月	第1期0次健診初年度（参加者1,127人、19日間実施）
2009年	第1期0次健診2年目（参加者4,638人、63日間実施）
2010年	第1期0次健診3年目（参加者4,046人、44日間実施）
11月	10,082人の参加を得て第1期0次健診が終了
2012年	第2期0次健診パイロット調査実施（参加者226人、6日間実施）

#### [関連事業]

- ・京都大学健康マンスリー講座&0次カフェ（2006年～2008年）
- ・健康づくり0次クラブの設立（2008年）、「お出かけ0次カフェ」（健康講座）、「健康フェスティバル」「こころと体の健康づくり講演会」などの開催、「げんき玉」の発行など。



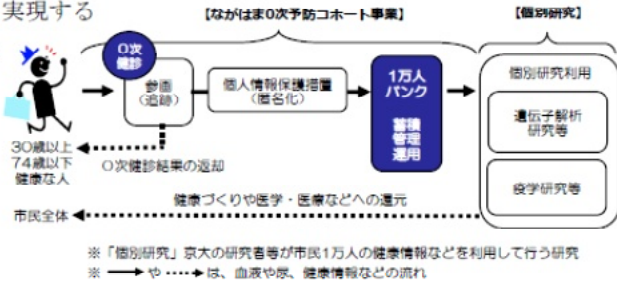
<sup>1</sup> 0次予防…生活習慣等の改善により病気の予防を推進する「1次予防」という考え方を一歩すすめ、生活習慣等の改善を個人の体質に合わせて行い病気の予防を推進するという考え方を示す造語。

<sup>2</sup> コホート…「病気の原因を調べる」研究の1つで、特定の集団や地域における一人ひとりの生活状況や血液検査結果、病気の発生状況等を追跡して調べる研究。

## 2. ながはま〇次予防コホート事業

〇次予防健康づくり推進事業の中核となる事業。30歳以上74歳以下の健康な同意を得た市民1万人に対して健診を行い、血液や尿等の生体試料と健診結果情報等のデータを収集するとともに、転居や死亡、疾病罹患に関する情報を滋賀県や医療機関等から収集し、健診で得た情報等と連結し、研究試料として蓄積していきます。このように集めた研究試料を病気の予防や治療を実現する

ための様々な研究に使用し、その成果を社会に還元することを目指します。また、この事業を通じて、京大医学研究科の健康づくりに関する豊富な知識と最新の情報を市民に提供することで、市民の健康に対する意識を高め、市民が自ら健康増進を図ることを目指します。

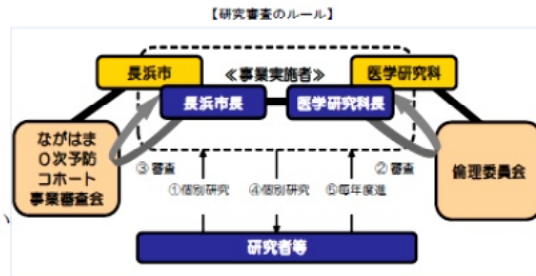


## 3. ながはまルール

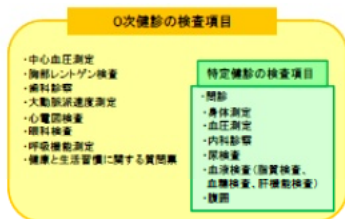
ながはま〇次予防コホート事業を実施するために国の倫理指針<sup>3</sup>を土台にし、研究参加者の個人情報保護されるとともに倫理的問題が生じないようにして、できるだけ自由に研究試料を様々な医学研究に継続的に利用できるようにするためのルールを作りました。長浜市によって条例となっています。

【内容】

- ①研究試料を取り扱う者全てを適用範囲とする。
- ②人権尊重を研究実施より上位に位置づける。
- ③試料の使用許可のために審査会組織を設ける。  
(京都大学及び長浜市の審査会の2重審査)
- ④開示に伴う不利益に対する社会的対策が整っていないため遺伝子の配列情報を開示しない。
- ⑤計画全体に同意をもらい、具体的実施方法が定まった時点で情報提供し同意撤回機会を提供するという独自の長浜式インフォームド・コンセントを採用している。
- ⑥二重匿名化<sup>4</sup>という個人情報保護の手順を具体的に記載。
- ⑦〇次事業の進展に合わせてルールを修正できるよう見直し条項を含む。



## 4. 〇次健診



「〇次健診」とは、市民の皆様の健康づくりと医学研究のために行う健診であり、通常の「特定健診(生活習慣病健診)」と京都大学大学院医学研究科が提供する「健康づくりに役立つ検査」を組み合わせた健診です。健診時に提供していただいた血液や尿、健診結果や問診情報などは医学研究に活用させていただきます。

<sup>3</sup> 国の倫理指針…ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針のこと。平成13年3月29日に、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の3省合同で策定された、ヒトゲノム・遺伝子解析研究の現場で遵守されるべき指針。平成16年12月28日に全部改正、平成17年6月29日に一部改正された。

<sup>4</sup> 二重匿名化…長浜市で個人情報の中の個人識別情報(氏名、生年月日、住所、連絡先)を個人IDに置き換えて、個人識別情報と個人IDの対応表を長浜市で管理し、さらに京都大学で研究試料を研究者に提供する場合に、個人IDを研究IDに変換して、個人IDと研究IDの対応表を組織的に管理する匿名化の方法。

## 5. 京都大学の研究内容と進捗状況

市民の方々が「ながはま0次予防コホート事業」に参加して頂くために、「0次健診」という特別な健診を実施しました。

0次健診は平成19年から4年間実施され、計10,082人のご参加を頂きました。

この貴重なデータ・検体をもとに、将来の健康状態、病気との関係を明らかにするコホート研究—すなわち追跡研究—を進めています。

コホート研究は長期（10年以上）の追跡期間を要するもので、参加して頂いた方がすべて10年追跡されるのは、平成32年となります。

研究は、この長期追跡だけでなく、頂いた貴重なデータ・検体の関連を横断的に検討する方法、2013年度から本格的に開始される第2期の0次健診と、第1期（ベースライン調査）の間の変化を調べる方法など、多様な取り組みを進めています。

現在、京都大学で進めている研究は次の通りです。

【0次健診の様子】



- ① 閉塞性肺疾患(喘息・COPD)の発症・進展における環境因子と遺伝子背景の解析（呼吸器内科）
- ② 歯科口腔外科疾患における生活習慣・環境・遺伝に関する疫学研究（歯科口腔外科）
- ③ 糖尿病発症に関連する生活習慣因子の解明
- ④ 糖尿病発症への関与が疑われる遺伝子変異に関する日本人における検証研究（糖尿病・栄養内科学）
- ⑤ 脳卒中・心血管病変の危険因子・予後因子の縦断的検討と動脈硬化度評価による発症前リスクの横断的検討（健康情報学）
- ⑥ 消化器発癌に関わる危険因子の検討（消化器内科）
- ⑦ 自己抗体保有健康者の自己免疫病発症要因の検討（臨床免疫）
- ⑧ 排尿障害、および男性における血清 PSA 値における横断的危険因子、および縦断的变化量の危険因子解析（泌尿器科）
- ⑨ 変形性膝関節症と腰痛の関連について（整形外科）
- ⑩ 加齢黄斑症の有病率調査ならびに環境因子・遺伝因子の解析（眼科）
- ⑪ 病的近視の有病率調査ならびに環境因子・遺伝因子の解析（眼科）
- ⑫ 血清 Lp(a)濃度に影響を及ぼす遺伝子変異に関する解析（人間健康科学）
- ⑬ 一般住民での生活習慣病と睡眠時間・睡眠呼吸障害の関係における遺伝子多型の関与についての検討（呼吸管理睡眠制御学）
- ⑭ 大規模コホートにおける運動器障害の実態、及び他の健康指標との関連についての横断的、縦断的研究（人間健康科学）
- ⑮ 認知症疾患の早期診断のためのバイオマーカーの確立（人間健康科学）

進捗状況として0次健診受診者の呼吸機能（肺の健康）、歯科、特に歯周病と全身の病気との関係、排尿をめぐる問題について、分かりつつあります。

## 6. 0次予防健康づくり推進活動

0次予防健康づくり推進活動として、市民ボランティア団体である「NPO 法人健康づくり0次クラブ」は、長浜市と京都大学大学院 医学研究科が進める「0次予防健康づくり推進事業」への積極的な協力と、将来世代につながる「心と体の健康づくり」の普及啓発することを目的として様々なイベントの開催や、広報誌「げんき玉」の発行など活発な活動を展開しています。

### ■いきいき健康フェスティバル



「幸せは心と体の健康から」をテーマに、京都大学の研究者や市立長浜病院、長浜赤十字病院、医師会、歯科医師会、各検査技師会など地元の医療関係者や地域団体など多彩な協力のもと、体のひろばや0次カフェ、講演会、ちびっこひろば等、子どもから大人まで健康について学んで楽しめるイベントを開催。平成22年度から4回実施しました。

次回開催 <いきいき健康フェスティバル2013>  
日時：5月19日(日) 10:00~16:00  
場所：長浜バイオ大学



### ■0次カフェ・お出かけ0次カフェ

0次カフェは「心と体の健康づくり」をテーマに講師の医師や各専門家と市民が交流し健康知識が向上していくことを目的とした健康座談会です。また、お出かけ0次カフェは各地域の自治会や婦人会、老人会など約20~50名の集いのあるところへ出向き0次カフェを開催。平成22年度から0次カフェ5回、お出かけ0次カフェ28回実施しました。



### ■広報誌「げんき玉」の発行

健康情報、研究者のメッセージ、0次健診の紹介やイベントのお知らせなどを掲載。平成24年度までに計9回発行。長浜市内全戸(約45,000部/1回)配布。



### 後記

第1期0次健診(2007年~2010年)の開始から5年が経過したので、2期0次健診(2012年~2015年)を行います。第2期の0次健診では、高齢化社会で役立つような検査項目が検討されています。さらに今後も調査を続けることで、京都大学の医学研究が進むと同時に、0次予防健康づくり推進事業や0次健診の参加者1万人から健康づくりの輪が広がり、多くの市民が健康でいきいきと暮らせるまちの実現につながると考えています。

#### ―事業関連掲載―

■長浜市：<http://www.city.nagahama.shiga.jp/>

■健康づくり0次クラブ：<http://zeroji-club.com>

■RISTEX 社会技術研究開発センター  
<http://www.ristex.jp/science/project/akashi.html>  
・地域に開かれたゲノム疫学研究のためのながはまルール

■JST 独立行政法人科学技術振興機構  
[http://www.jst.go.jp/pr/jst\\_news/backnumber1211.html](http://www.jst.go.jp/pr/jst_news/backnumber1211.html)  
・JST NEWS 11月号 最先端研究に市民が自ら考え参加する

■科学技術白書 平成23年度版 P96  
[http://www.next.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpaa201101/1302926.htm](http://www.next.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa201101/1302926.htm)  
・社会とともに創り進める科学技術

発行者：長浜市 発行日：2013年3月

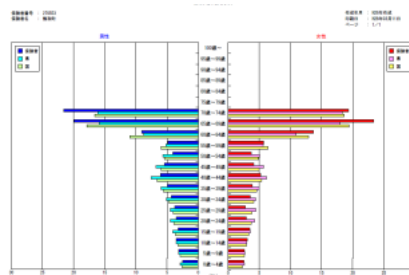
(20) 大阪府熊取町(くまとりちょう)

人口	44,338 人
高齢化率	24.4%
被保険者数	11,736 人
特定健康診査対象者数	8,108 人
平成 23 年度実施率	25.2%
平成 26 年度実施率	36.8%
実施率の伸び	11.6%

\* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在  
 \* 被保険者数は平成 26 年度末。  
 \* 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布



職員配置

【国保部門】  
 課長以下 9 名  
 全員事務職  
 給付資格グループ 5 名  
 徴収グループ 3 名  
 【健康増進部門】  
 課長以下 8 名  
 事務職 2 名  
 保健師 4 名  
 管理栄養士 1 名  
 看護師 1 名

地域の特性

熊取町は大阪都心部から約 30 km の距離で、大阪府の南部・泉南郡に位置し、JR 阪和線で市内から約 30 分、関西国際空港から約 15 分で来ることができます。気候は温暖で雨量も少なく、快適で暮らしやすいのが特徴で「子育てしやすいまち」「教育のまち」として魅力あるまちづくりをすすめています。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、人間ドックの特定健康診査への反映、集団健診の土日実施、集団健診とがん検診の同時実施において肝炎ウイルス検診・肺がん検診の個別勧奨通知を特定健康診査受診券と別に送付したこと、コールセンターによる未受診者への受診勧奨です。

【人間ドックの特定健康診査への反映】

人間ドックの結果のデータ入力は以前より実施し、反映させていましたが、平成 25 年度から、エラーが出ていた被保険者のデータを見直し、再度反映させる作業を行った結果、実施率が向上しました。人間ドックの助成件数も毎年 10% ずつ伸びています。

【集団健診の土日実施】

集団健診の土日実施では、平成 23 年度より日曜日に実施していましたが、平成 25 年度より土曜日にも 1 日行うようにしました。土日に実施したことで、若年者が受診しやすくなり、小学生連れの親御さんが受診される姿も見られています(表 1)。

## 特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

表1 集団健診における若年者の特定健康診査実施率

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
30 歳代	2.0%	1.9%	1.6%	1.8%
40 歳代	6.3%	7.4%	6.4%	7.0%

### 【集団健診とがん検診の同時実施】

集団健診とがん検診の同時実施では、以前より肺がん検診と同時実施していましたが、平成 24 年度に国の肝炎ウイルス検診の節目検診の開始にあわせて肝炎ウイルス検診と肺がん検診の個別勧奨通知を特定健康診査受診券とは別に送付するようになったため、実施率が 4.4% 上昇しました。

また、平成 25 年度より、住民の利便性を考え、集団健診と胃がん・大腸がん検診を年 2 回、同時実施できるようにしており、予約の反響は大きく、一日で特定健診とがん検診が受診でき大変便利なので続けてほしいとの住民の声が多く寄せられています（表 2）。

表 2 集団健診の年度実施率に占める割合

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
集団健診の年度実施率に占める割合	73.4%	78.8%	65.9%	60.6%

\*平成 25 年度から、人間ドックが反映されたので、実施率に占める割合が低下したように見えています。

### 【コールセンターによる受診勧奨】

平成 26 年度までは、国保の事務職が電話で受診勧奨を年間 350 件行ってきましたが、国からの特別調整交付金の対象になっていたことから、効率化を図る目的で平成 26 年度よりコールセンターに受診勧奨を委託しました。

平成 26 年度は 1 月に委託し、1 ヶ月から 2 ヶ月の間で電話による受診勧奨を行い、個別健康診査につなげるようにしました。平成 27 年度は、12 月半ばに委託し 2,000 件以上にアプローチすることができました（表 3）。

表 3 受診勧奨前後の特定健康診査受診者数の比較

	平成 25 年度	平成 26 年度（受診勧奨開始年度）
受診者数（1 月～3 月）	355 人	483 人（前年度より約 130 人増）

前年度の同じ時期で比べると、コールセンターの電話勧奨によって、約 130 人ほど増加している。委託に関しては、受診勧奨の内容等細かく指定し、依頼を行っている。

## 特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

人間ドックの結果の入力内容にエラーが発生した場合は、本人へ照会をかけるなどして確実に結果が反映できるようにしたことで、実施率の向上につながり、また特定保健指導の対象者を抽出できる体制を整えることができました。今後も丁寧に対応していきたいと考えています。

電話勧奨については、案内の仕方によっては特定健診だけでなく人間ドックの実施率向上も見込めると感じています。また、特定健診と同時受診できるがん検診等があることは特定健診受診の動機づけになると考えられますが、実施するだけでなく案内の方法を工夫することが大切だと感じています。

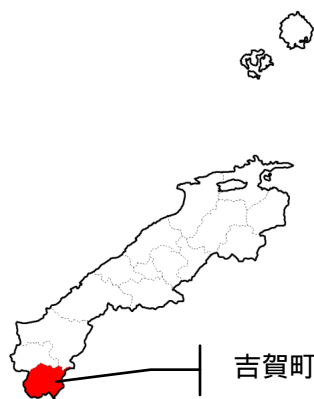
## 保健事業の委託状況（特定健康診査以外の委託の有無）

あり	受診勧奨
なし	

(21) 島根県吉賀町(よしかちょう)

人口	6,583人
高齢化率	41.1%
被保険者数	1,684人
特定健康診査対象者数	1,317人
平成23年度実施率	36.6%
平成26年度実施率	47.4%
実施率の伸び	10.8%

\*人口・高齢化率は平成27年1月1日現在  
 \*被保険者数は平成26年度末。  
 \*特定健康診査対象者数、実施率は平成26年度速報値。



被保険者年齢分布	職員配置
	<b>【保健福祉課】</b> 課長 1名 国保担当 2名(事務職) 健診担当 2名(保健師)

地域の特性

吉賀町は、島根県の西端に位置し、中国自動車道のインターチェンジを有した島根県の西の玄関口です。1,263mの安蔵寺山を代表するように険しい山々に囲まれた自然豊かな中山間地域です。また、吉賀町を源流とする高津川とその支流に沿い耕地が開けています。典型的な日本海型気候で、年間の平均気温は13.3、降水量は年間平均で1,860mm前後と比較的多い方であり、冬季間は厳しい冷え込みと積雪があります。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、特定健康診査の対象者への受診券発送のタイミングの工夫、かかりつけ医からの受診勧奨、広報活動、特定健康診査とがん検診の同時実施、若年者の健診です。

【受診券発送のタイミングの工夫】

平成20年度当初は保険者に馴染みがなく受診券の再発行が増えることを想定し、町が集団健診会場に持って行って行っていました。しかしながら、平成23年度からは、事前に申し込みのあった方には先に郵送し、申し込みのない方には健診開始の1週間前に受診勧奨の意味も込めて受診券を発送しています(資料1:同封チラシ)

【かかりつけ医からの受診勧奨、広報活動】

かかりつけ医からの受診勧奨も効果的で、平成17年の町村合併時から年1回行っていた「医療機関連絡調整会議」について、平成20年度に特定健康診査が始まったことに伴い、会議の中で特定健康診査実施率の提示等を行い、医療機関サイドからの受診勧奨を働きかけました。調整会議の出席者は、町内4つの医療機関からは、医師、看護師、保健師、事務職等、庁内からは国保部門



### 特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

の課長、課長補佐、健診担当職員、一般衛生部門の保健師 1～2 名が出席しています。

これまで健診開始時及び健診終了前に、告知端末(写真:自宅に設置されているスピーカーから音声が出る)を利用して放送を行っていましたが、調整会議の中で、健診期間中(7月から9月末)にも放送できると良いとの提案があったため、健診期間中に計5回程度放送を行うこととし、効果的な受診勧奨の手段となっています(資料2:告知放送内容)。



< 告知端末 >

#### 【特定健康診査とがん検診の同時実施】

平成 20 年度から、胃がん、大腸がん、前立腺がんの検診を特定健康診査と同時に行っており、被保険者の利便性向上につながっています。

#### 【若年者の健診】

20 歳から健診を受けられることとしており、若年層からの健診受診の習慣づけに有効であると考えています。

### 特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

かかりつけ医からの受診勧奨により、医療機関委託分の受診者が平成 26 年度に比べ増加しました。医療機関連絡調整会議で検討を行ったことが、実施率の伸びにつながったと考えています。

その他の理由で受診した方もいると考えられますが、情報入手が困難な状況であり、情報提供がスムーズにできる体制の検討が必要であると感じています。

### 保健事業の委託状況(特定健康診査以外の委託の有無)

あり	
なし	

# 特定健診を受けましょう

特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した健康診断です。

生活習慣病予防と健康づくりのため、この機会にぜひ特定健診を受けましょう。

集団健診か医療機関健診のどちらか一方を受診できます。

特定健診の検査項目			
問診	服薬歴、喫煙習慣など	血液検査	糖・脂質・肝機能・貧血
身体計測	身長・体重・腹囲	血圧測定	
尿検査	蛋白・糖	診察	聴診
心電図	心臓の機能	眼底	集団健診のみ

## 集団健診

### ● 健診会場

日 程	対 象 地 区
6月30日（火）柿木ふれあい会館	柿木・福川・梶谷
7月1日（水）柿木ふれあい会館	白谷・下須・大野原・木部谷
7月2日（木）朝倉小学校体育館	注蓮川・朝倉・蓼野
7月3日（金）七日市林業センター	七日市・坂月・真田・高尻
7月14日（火）六日市基幹集落センター	幸地・立河内・青飯・沢田 広石・立戸・六日市
7月15日（水）六日市基幹集落センター	
7月16日（木）蔵木小学校体育館	田野原・樋口・蔵木・九郎原

都合により、会場を振り分けていますが、どここの会場で受診されてもかまいません。

● 受付時間 午前8時30分～10時 午後1時～2時

● 持参するもの 同封の特定健康診査受診券

国民健康保険の保険証

自己負担金（1,000円）

※前日の夜9時以降食事を取らなければ胃がん検査も受けられます。（料金500円）

裏面もご覧ください

## 医療機関での健診

### ● 実施医療機関

医療機関	電話番号
〇〇内科胃腸科	
△△医院	
□□医院	

事前に各自で希望の医療機関に予約してください。

※ 胃がん検診はできません

● 実施期間 平成27年7月1日（水）～9月30日（水）

- 持参するもの 同封の特定健康診査受診券  
国民健康保険の保険証  
自己負担金（1,000円）

※他で健診を受診された方は、差し支えなければ、健診結果を吉賀町役場 保健福祉課保健師までご連絡ください。



お問い合わせ先  
吉賀町役場 保健福祉課  
電話 77-1165

## 告知放送内容

保健福祉課から特定健診についてお知らせします。

<6月30日(火)7月1日(水)に柿木ふれあい会館、7月2日(木)朝倉小学校体育館、7月4日(金)七日市林業センターにおいて、特定健診を行います。当日は胃がん検診や前立腺がん検査も同時に行います。また、内科胃腸科、医院、医院でも特定健診は受診できます。医療機関での受診を希望される方は、直接医療機関に予約してください。>

以上、<保健福祉課>からのお知らせでした。

保健福祉課から特定健診についてお知らせします。

<7月14日(火)~7月16日(木)に特定健診を行います。14日と15日は六日市基幹集落センター、16日は葦木小学校体育館です。受付時間は、3日間とも午前8時30分~10時と午後1時~2時です。当日は胃がん検診や前立腺がん検査も同時に行います。また、内科胃腸科、医院、医院でも特定健診は受診できます。医療機関での受診を希望される方は、直接医療機関に予約してください。>

以上、<保健福祉課>からのお知らせでした。

保健福祉課から特定健診についてお知らせします。

<現在、内科胃腸科、医院、医院において特定健診を実施しています。期間は、9月30日までです。4月以降、特定健診を受診されていない方は、早めに受診しましょう。受診の際は、事前に直接医療機関に予約し、保険証とお手元に届いている受診券を持参のうえ受診してください。>

以上、<保健福祉課>からのお知らせでした。

保健福祉課から特定健診についてお知らせします。

<現在、内科胃腸科、医院、医院において特定健診を実施しています。期間は、9月30日までです。残り少なくなってきましたので、4月以降、まだ特定健診を受診されていない方は、是非受診しましょう。受診の際は、事前に直接医療機関に予約し、保険証とお手元に届いている受診券を持参のうえ受診してください。受診券を紛失された方は、保健福祉課にご相談ください。>

以上、<保健福祉課>からのお知らせでした。